

「小中の連携を深め

児童生徒の教育課題についてともに考えよう」

I 主題設定の理由

これまで、授業参観等を通して、具体的な児童生徒の様子を話題としながら、児童生徒の学習課題・生活課題について話し合うことで、小・中学校の連携のあり方について探ってきた。

今年度も、これまでの研究をもとに、小・中学校連携の意義の確認と児童生徒が抱える様々な教育課題について、ともに考えることで、児童生徒のよりよい成長を目指していきたい、と考え、このテーマを設定した。また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携も図りながら、系統的な教育のあり方について考えていきたい。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究交流会

(1) 日時 平成26年 7月 30日 (水)

日 (月) 午後1時30分から

(2) 会場 佐藤庭石店

(3) 内容

① 臨地研修

・「甲州鞍馬石」について

② 研究討議

・今年度の研究について

・情報交換

2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成27年11月12日 (水) 午後2時10分から

(2) 会場 大和中学校

(3) 内容

①大和中学校授業参観

中学校1年音楽 授業者 富田 照也 教諭

②研究討議

・小学校、中学校校内研修について

・中学1年音楽の授業について

・中学校1年生の様子について

・教育課題について

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成27年 1月21日(水) 午後3時から

(2) 会場 勝沼市民会館 大会議室

(3) 内容

①勝沼・大和ブロック教育講演会

講師 都留文科大学特任教授 品田 笑子先生

講演内容「構成的グループエンカウンター～ポジティブ・コミュニケーションを目指して」

②情報交換会

- ・中学校入学に向けて(中学校から)
- ・小学校6年生の様子について(6年担任)
- ・教育課題について
- ・今年度の研究のまとめ

III 成果と課題

1 成果

- ・中学校1年生の音楽の授業参観は、中学校に進学したあとの児童の様子をみることができよかった。
- ・地場産業である石の加工特に大和町の特産品である「甲州鞍馬石」について臨地研修会を行った。地元の佐藤庭石店の佐藤さんに講師をお願いし、「甲州鞍馬石」の歴史や特徴、加工方法など多岐にわたりお話をいただいた。
- ・全員で同じ授業を参観することで、情報交換会が具体的となり、交流を深めることができた。
- ・大和地区の教育課題について、情報交換を行うことで、小中の共通の課題が浮き彫りとなった。小中1校ずつという利点を活かし、さらに積極的に連携を図り、児童生徒のよりよい成長を目指していきたい。
- ・勝沼ブロックと合同で行った教育講演会では、品田笑子先生から具体的な、すぐに実践できるような内容の講演をお聞きすることができた。学校生活ですぐにでも実践できるようなことで、大変有意義だった。
- ・ブロック交流研究日以外にも、中学校1日入学の日に中学校教員による小学校6年生を対象とした体験授業が、実施された。小学6年生が入学前に中学校の授業を体験でき、小中連携がさらに一歩前進し、児童理解を進める一助ともなった。

2 課題

- ・生活指導や学習規律など、教員間での情報交換・共有を密に行い、小中で一貫した指導をしていきたい。
- ・年3回のブロック研究は少なく、できることも限られてしまうが、小中がより近い存在となるように、できるだけ学校開放日の日等も利用して、気軽に話し合えるようにしていきたい。
- ・来年度も、小中で情報交換を行う中で、個々の子どもにあった指導法を展開していくことが大切である。集団としてというより、より個々に合わせたという方が地域に合っている。

(ブロック長 岩下 亜希子)